

4章 子どものスマホ・ケータイ利用

1節

子どものスマホ・ケータイ所有・利用状況

スマートフォンやゲーム機の利用率, 持たせ始め理由

ポイント

- 自分専用の端末としてのスマートフォン所有率は中学1年生で6割を超える(資料4-1)。
- 家族などで共有しているものを含むスマートフォン利用率は中学生になると7~8割に拡大(資料4-2)。
- 小中学生男子の過半数がゲーム機でインターネットを利用(資料4-4)。
- 小中学生の約半数の保護者が「緊急時に子どもと連絡が取れるように」スマホ・ケータイを持たせている(資料4-5)。

[資料4-1] 自分専用の端末として子どもが所有しているスマホ・ケータイの種類[学年別] _____ 45

[資料4-2] 利用しているスマホ・ケータイの種類[学年別] _____ 45

[資料4-3] 利用しているスマホ・ケータイの種類[学年別] _____ 46

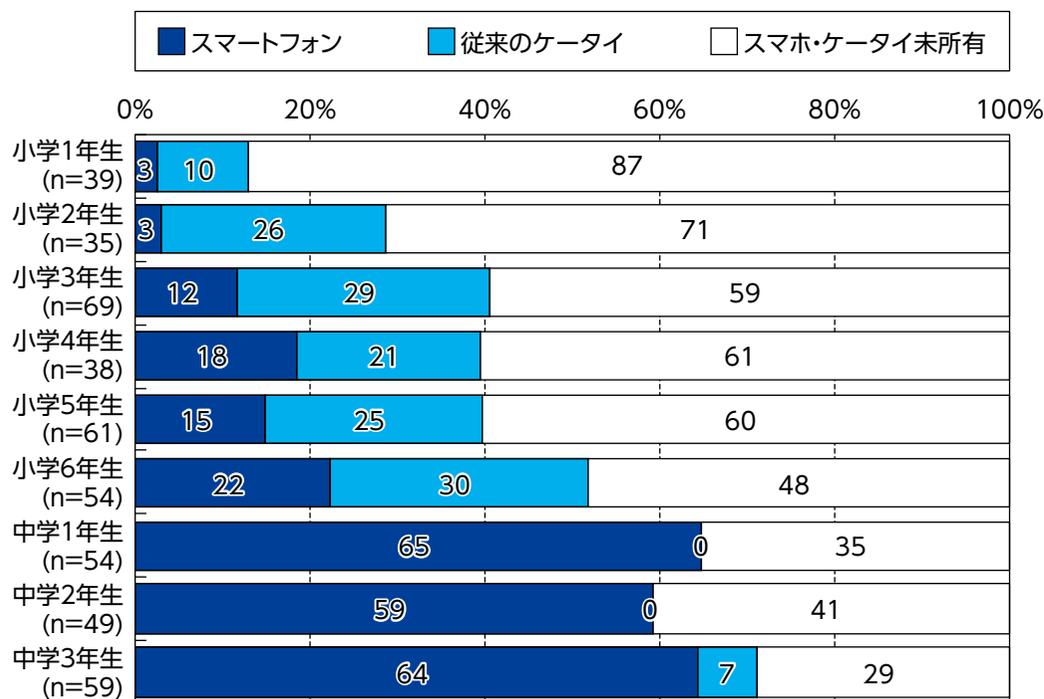
[資料4-4] ネットに接続したゲーム機の利用率[性学年別] _____ 46

[資料4-5] 子どもがスマホ・ケータイを使い始めた理由[使い始め年齢別](複数回答) _____ 47

1 節

【資料4-1】 自分専用の端末として子どもが所有している スマホ・ケータイの種類[学年別]

- 「スマートフォン」と「従来のケータイ」を合わせた所有率は、小学1年生では1割ほどだが、小3～小4で約4割に拡大し、中1～中3では約6割に上昇。
- 所有端末の構成比を見ると、小学生では「従来のケータイ」のほうが「スマートフォン」より多いが、小学3年生からスマートフォンが増え始め、中学生になると6割を超え、中学生はほとんどがスマートフォンとなる。



注1: 関東1都6県在住の小中学生の保護者が回答。

注2: 「スマートフォン」は回線契約なしのスマートフォンは含めず集計。

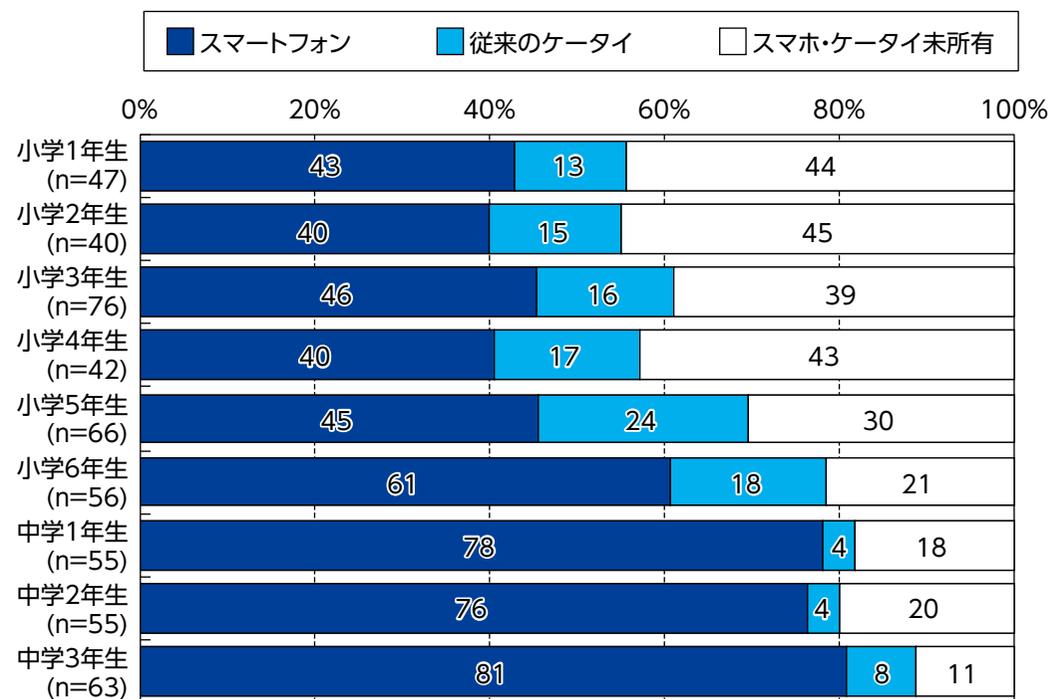
注3: 「従来のケータイ」はスマートフォン以外のフィーチャーフォン、キッズケータイを含め集計。

注4: 「スマートフォン」と「従来のケータイ」をどちらも所有している場合は、「スマートフォン」所有として集計。

出所: 子どものケータイ利用に関する調査2018(訪問留置)

【資料4-2】 利用しているスマホ・ケータイの種類[学年別]

- スマートフォン利用率(家族などで共有しているものを含む)は、小学生で4～6割、中学生では7～8割に拡大。



注1: 関東1都6県在住の保護者が回答。

注2: 家族などで共有しているものを含め、子どもが利用している機器の有無を保護者が回答。

注3: 「スマートフォン」は回線契約をしているスマートフォン、いわゆる格安スマホ、キッズスマホ、回線契約なしのスマートフォンを含み集計。

注4: 「ケータイ」はスマートフォン以外のいわゆるガラケー、フィーチャーフォン、キッズケータイをさす。

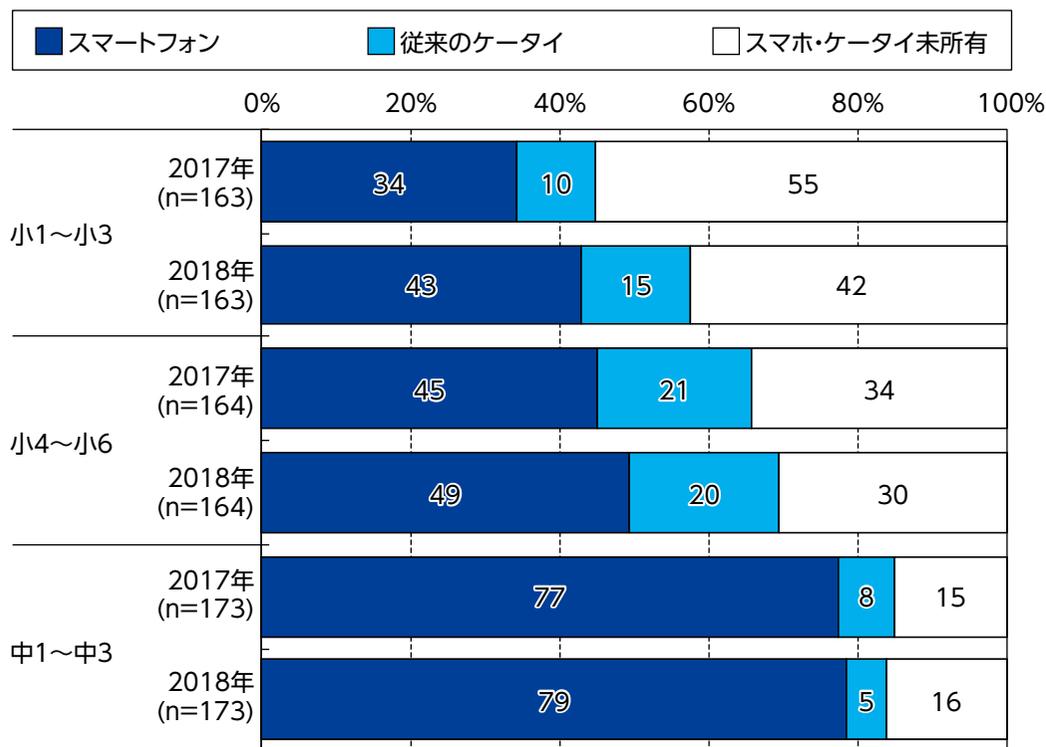
注5: 「スマートフォン」と「従来のケータイ」をどちらも利用している場合は、スマホ利用者として集計。

出所: 子どものケータイ利用に関する調査2018(訪問留置)

1 節

[資料4-3] 利用しているスマホ・ケータイの種類の年次推移[学年別]

- スマートフォン利用率(家庭などで共有している端末の利用を含む)は、小学生では3~4割、中学生では約8割に拡大。
- 中学校入学を機にスマートフォン利用率が拡大。



注1: 関東1都6県在住の小中学生の保護者が回答。

注2: 家族などで共有しているものを含め、子どもが利用している機器の有無を保護者が回答。

注3: 「スマートフォン」は回線契約をしているスマートフォン、いわゆる格安スマホ、キッズスマートフォン、回線契約なしのスマートフォンを含み集計。

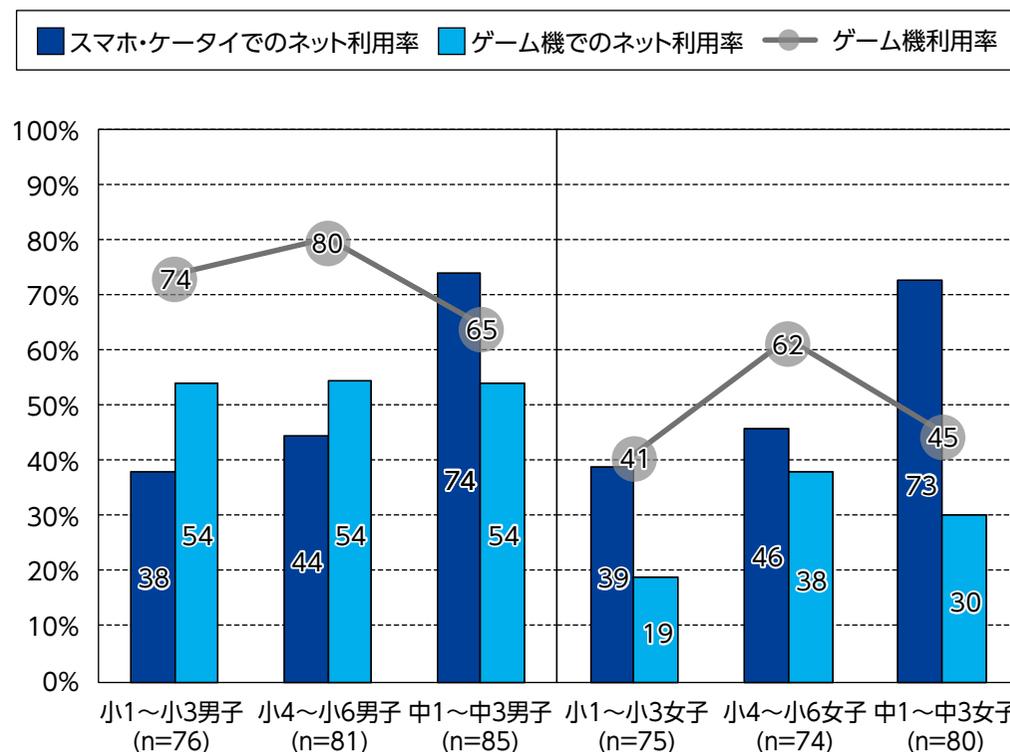
注4: スマートフォンとキッズケータイ・フィーチャーフォンをどちらも利用している場合は、スマートフォン利用として集計。

注5: 「ケータイ」は、スマートフォン以外のフィーチャーフォンやキッズケータイをさす。

出所: 子どものケータイ利用に関する調査2017(訪問面接), 2018(訪問留置)

[資料4-4] ネットに接続したゲーム機の利用率[性学年別]

- 小中学生男子の過半数がゲーム機でインターネットを利用。



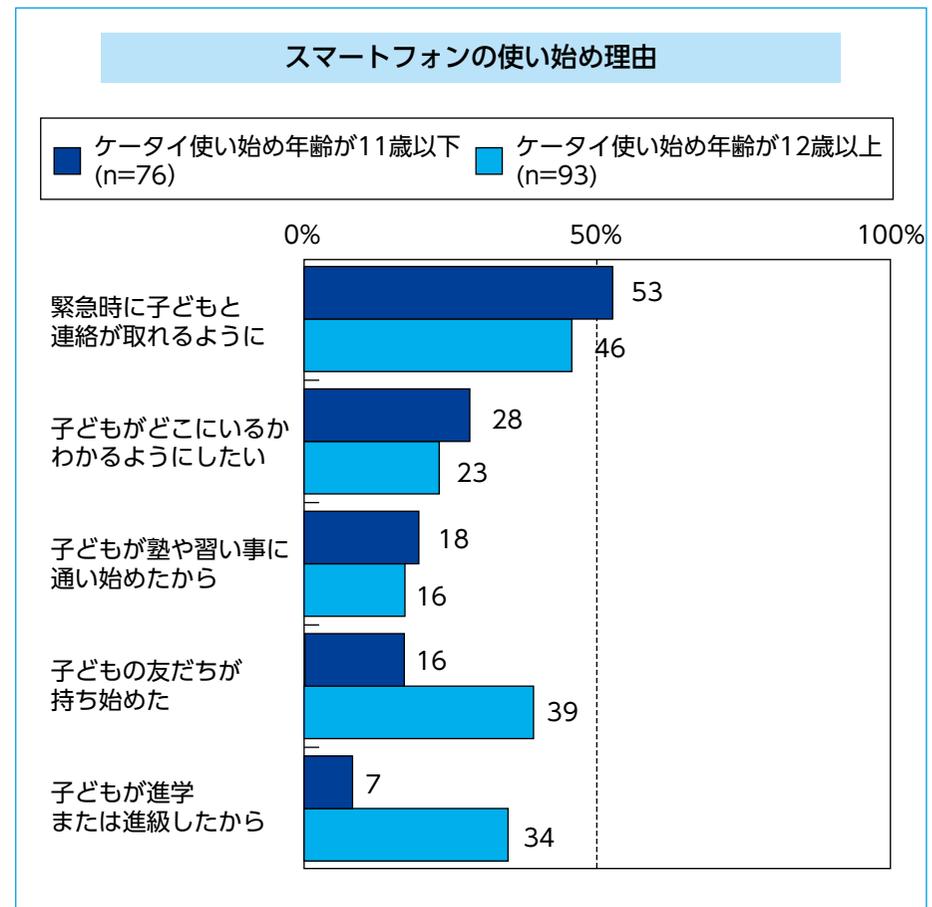
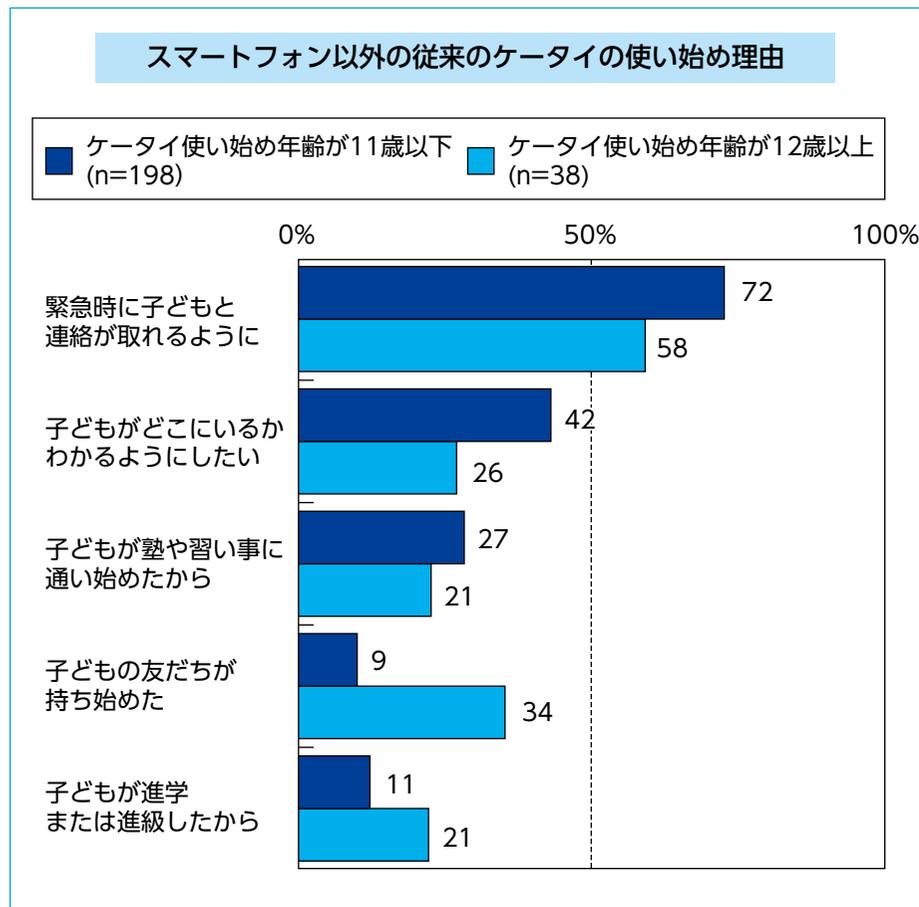
注1: 「ゲーム機利用率」「ゲーム機でのネット利用率」は、ニンテンドースイッチ、プレイステーション4、ニンテンドー3DS、PS Vitaなど、携帯型と据置型のゲーム機を含みスマートフォンは含めず集計。

注2: スマホ・ケータイでのネット利用は、家族などで共有しているものを含め、子どもがネットに接続して利用している機器の有無を保護者が回答。

出所: 子どものケータイ利用に関する調査2018(訪問留置)

1 節 [資料4-5] 子どもがスマホ・ケータイを使い始めた理由[使い始め年齢別](複数回答)

- 小中学生の約半数の保護者が「緊急時に子どもと連絡が取れるように」スマートフォン・ケータイを持たせている。
- 12歳以上の子どもがスマートフォンを使い始めた理由は中学校への「進学」や「進級」が3割超、「子どもの友だちが持ち始めた」が4割ほど。



注1: 関東1都6県在住の小中学生を持つ保護者が回答。注2: 本グラフでの「ケータイ」とは、スマートフォン以外のフィーチャーフォンやキッズケータイをさす。
出所: 子どものケータイ利用に関する調査2018(訪問留置)

4章 子どものスマホ・ケータイ利用

2節

子どものスマホ・ケータイ利用の概況

通話やメッセージ, SNSや動画の利用頻度など

ポイント

- 中学生になるとLINEの利用率は一気に拡大し, 毎日利用する子どもは約6割となる(資料4-8)。
- 毎日YouTubeを見る小中学生は, いずれの学年でも3割を超える(資料4-11)。
- 小学6年生になると学校や塾の宿題について, 毎日インターネットで調べたり動画を見たりする子どもが約2割となる(資料4-13)。

[資料4-6] 通話(LINE通話など通話アプリも合わせた通話時間)の利用頻度[学年別](単一回答) — 49

[資料4-11] YouTubeの利用頻度[学年別](単一回答) — 52

[資料4-7] メールの利用頻度[学年別](単一回答) — 49

[資料4-12] オンラインゲームの利用頻度[学年別](単一回答) — 52

[資料4-8] LINEの利用頻度[学年別](単一回答) — 50

[資料4-13] 学校や塾の宿題について, インターネットで調べたり動画を見る頻度[学年別](単一回答) — 53

[資料4-9] Twitterの利用頻度[学年別](単一回答) — 51

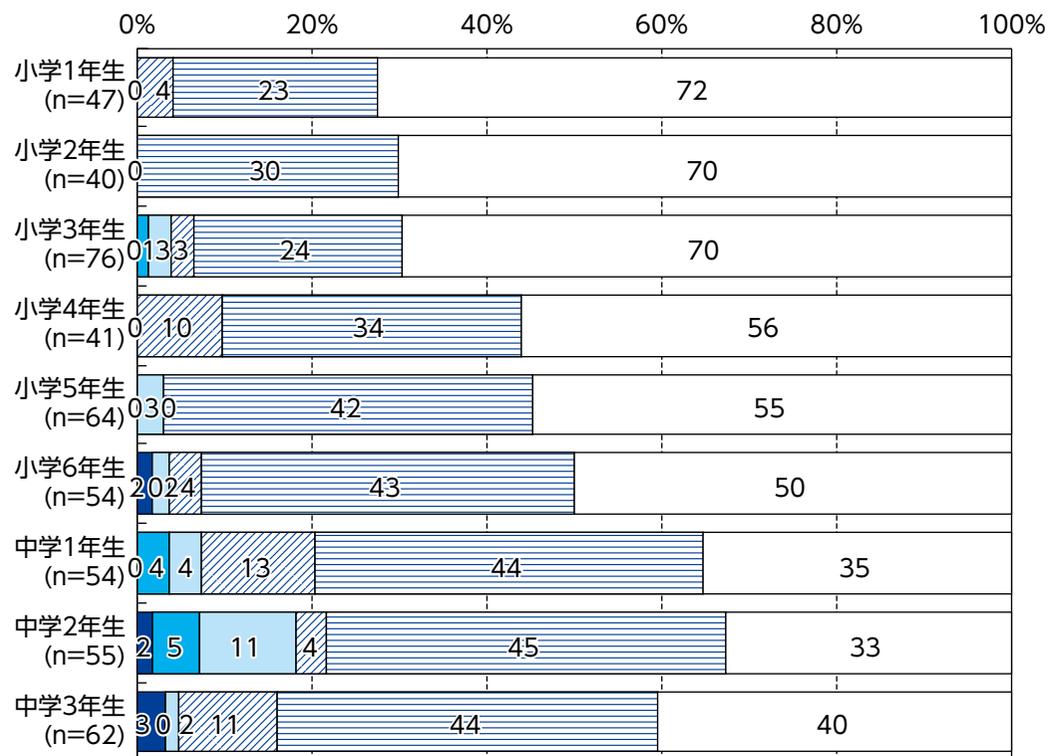
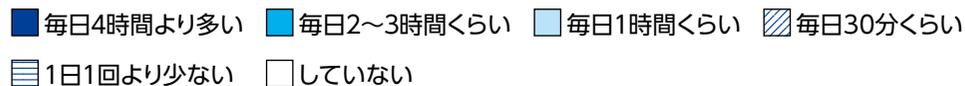
[資料4-14] 習いごとや部活について, インターネットで調べたり動画を見る頻度[学年別](単一回答) — 53

[資料4-10] Instagramの利用頻度[学年別](単一回答) — 51

2 節

[資料4-6] 通話(LINE通話など通話アプリも合わせた通話時間)の利用頻度[学年別](単一回答)

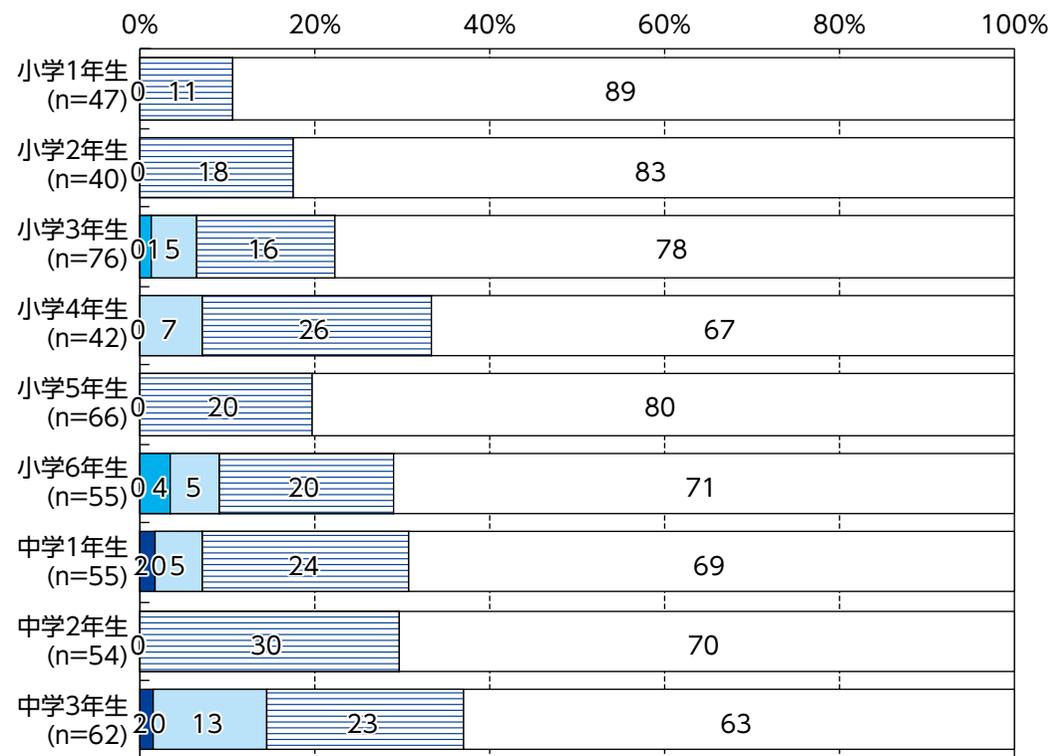
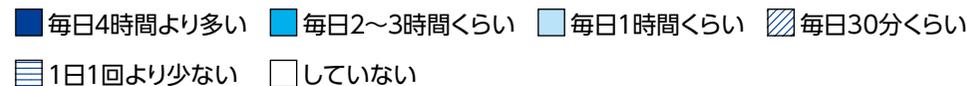
- 通話機能を利用する子どもは、学年が上がるに伴い拡大し、中学生になると約2割が毎日利用。



注: 関東1都6県在住の小中学生が回答。
 出所: 子どものケータイ利用に関する調査2018(訪問留置)

[資料4-7] メールの利用頻度[学年別](単一回答)

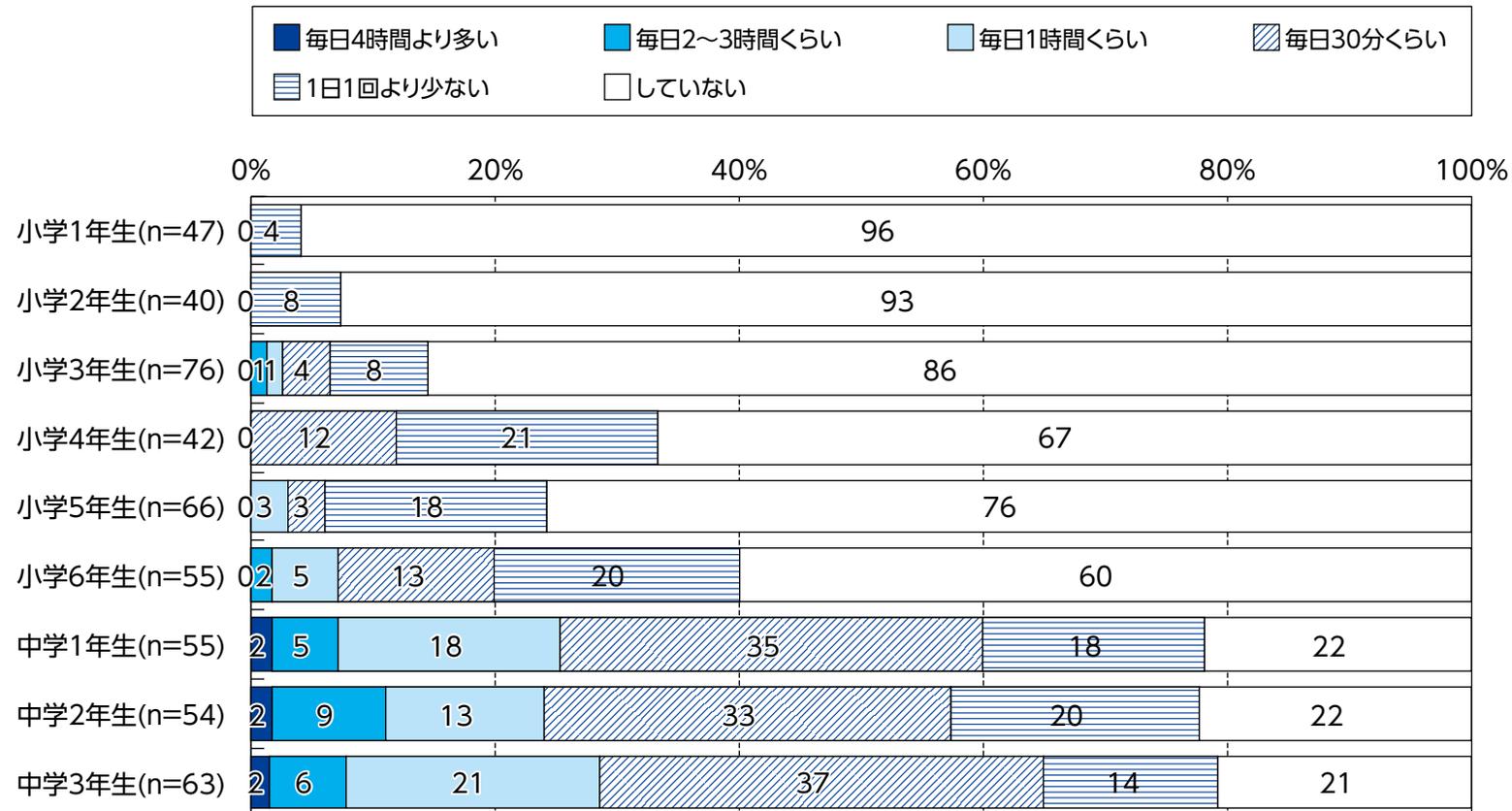
- メールを利用している子どもは4割未満に留まる。



注: 関東1都6県在住の小中学生が回答。
 出所: 子どものケータイ利用に関する調査2018(訪問留置)

2 節 [資料4-8] LINEの利用頻度[学年別](単一回答)

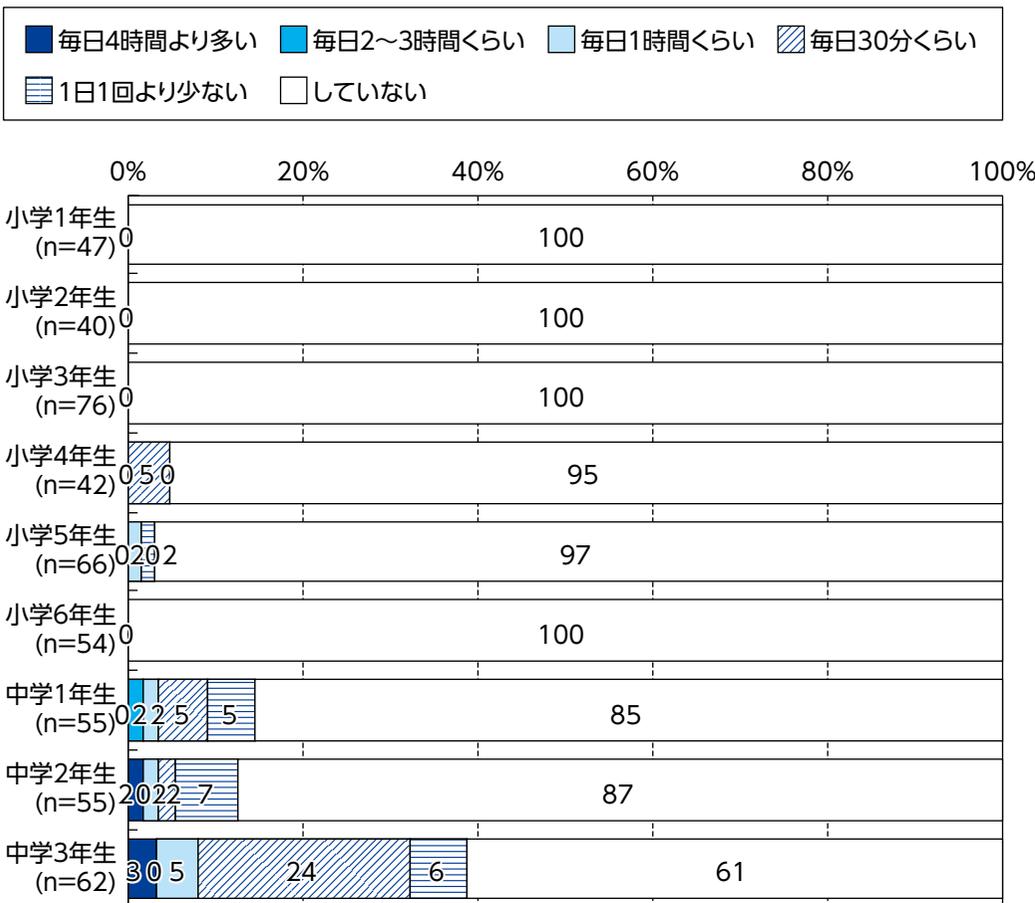
- 中学生になると利用頻度は一気に拡大し、毎日利用する子どもは約6割となる。



注: 関東1都6県在住の小中学生が回答。
出所: 子どものケータイ利用に関する調査2018(訪問留置)

2 節 [資料4-9] Twitterの利用頻度[学年別](単一回答)

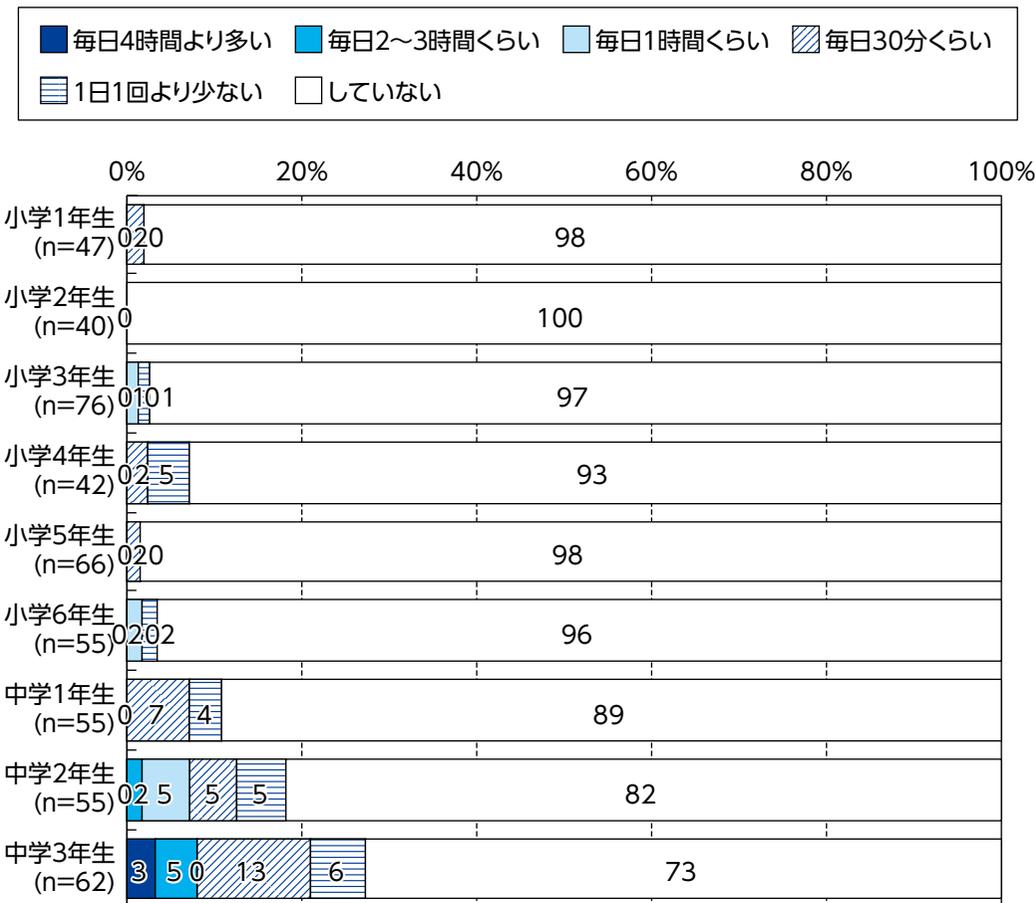
- Twitterは13歳未満は利用制限があるため、小学生ではほぼ利用されない。中学3年生になると毎日利用する子どもは約3割に急拡大している。



注: 関東1都6県在住の小中学生が回答。
出所: 子どものケータイ利用に関する調査2018(訪問留置)

[資料4-10] Instagramの利用頻度[学年別](単一回答)

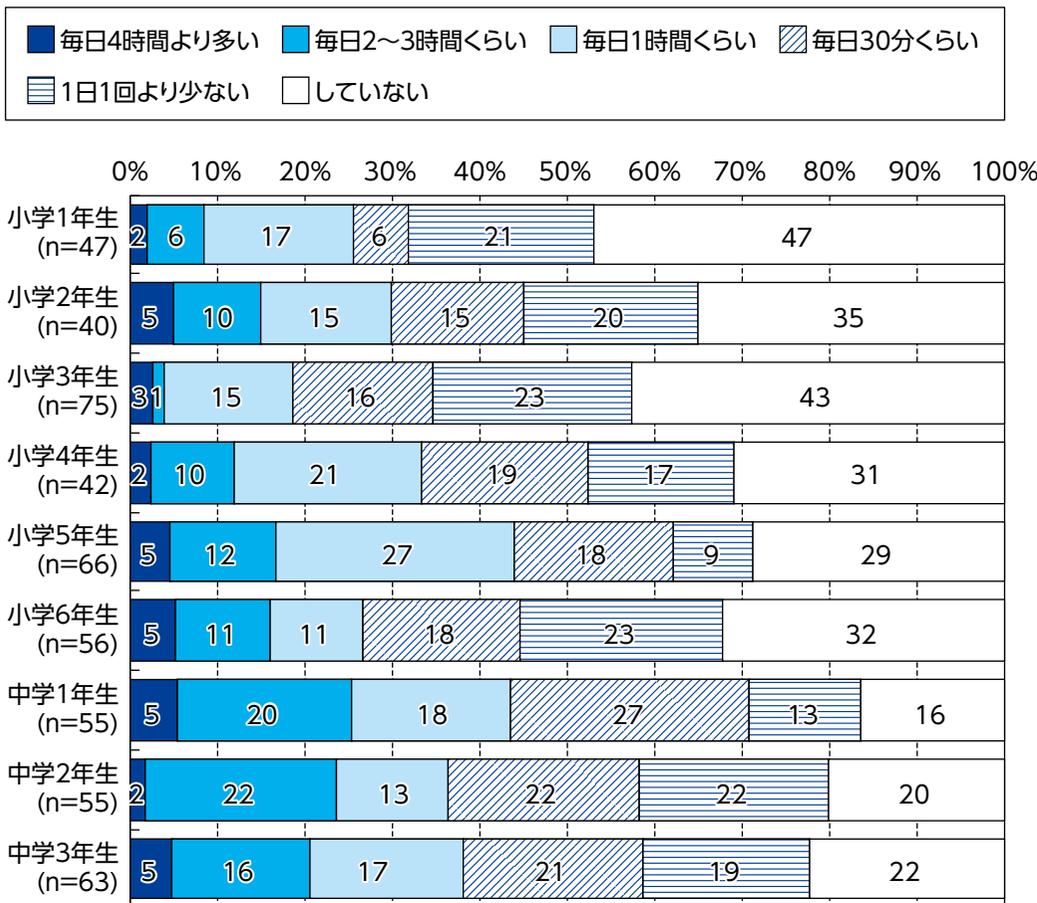
- Instagramは13歳未満は利用制限があるため、小学生ではほぼ利用されない。中学生になると徐々に利用頻度が高まり、中学3年生で毎日利用する子どもは2割に達する。



注: 関東1都6県在住の小中学生が回答。
出所: 子どものケータイ利用に関する調査2018(訪問留置)

2 節 [資料4-11] YouTubeの利用頻度[学年別](単一回答)

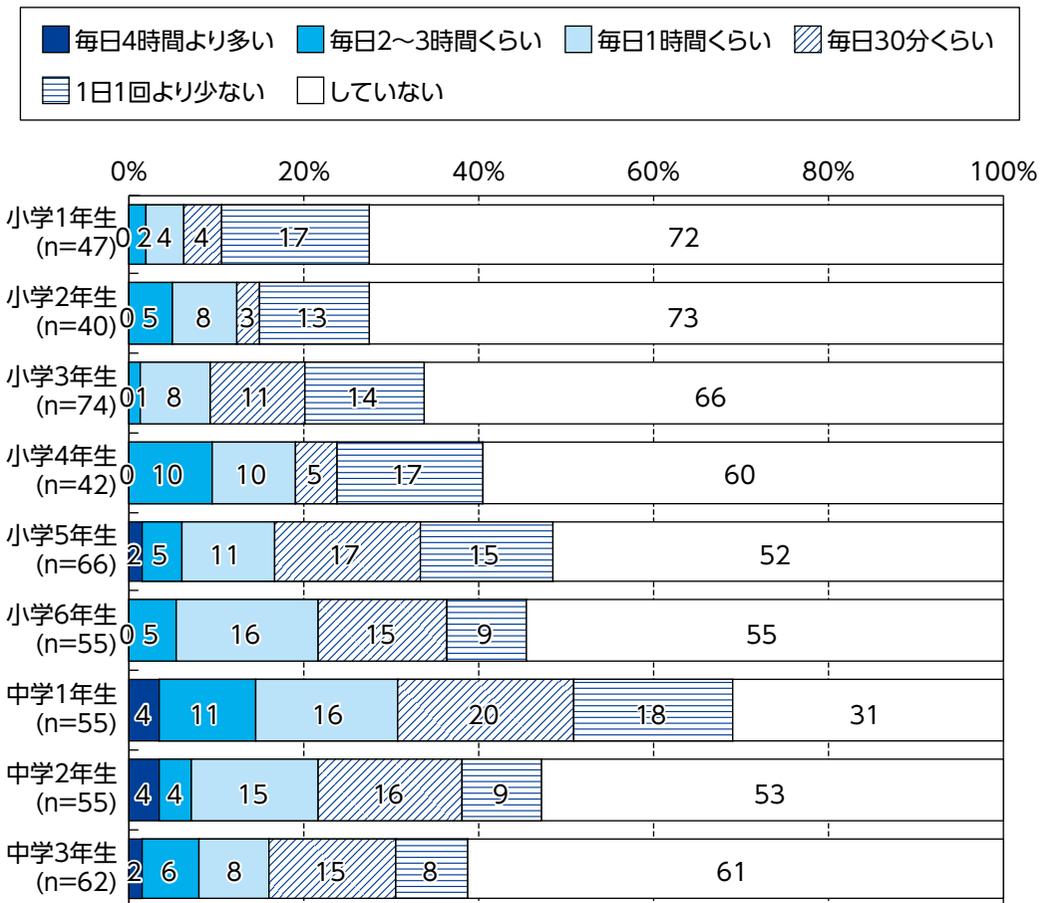
- 毎日YouTubeを見る小中学生は、いずれの学年でも3割を超える。



注: 関東1都6県在住の小中学生が回答。
出所: 子どものケータイ利用に関する調査2018(訪問留置)

[資料4-12] オンラインゲームの利用頻度[学年別](単一回答)

- 毎日オンラインゲームをする子どもは中学1年生が最も多く、4割超え。

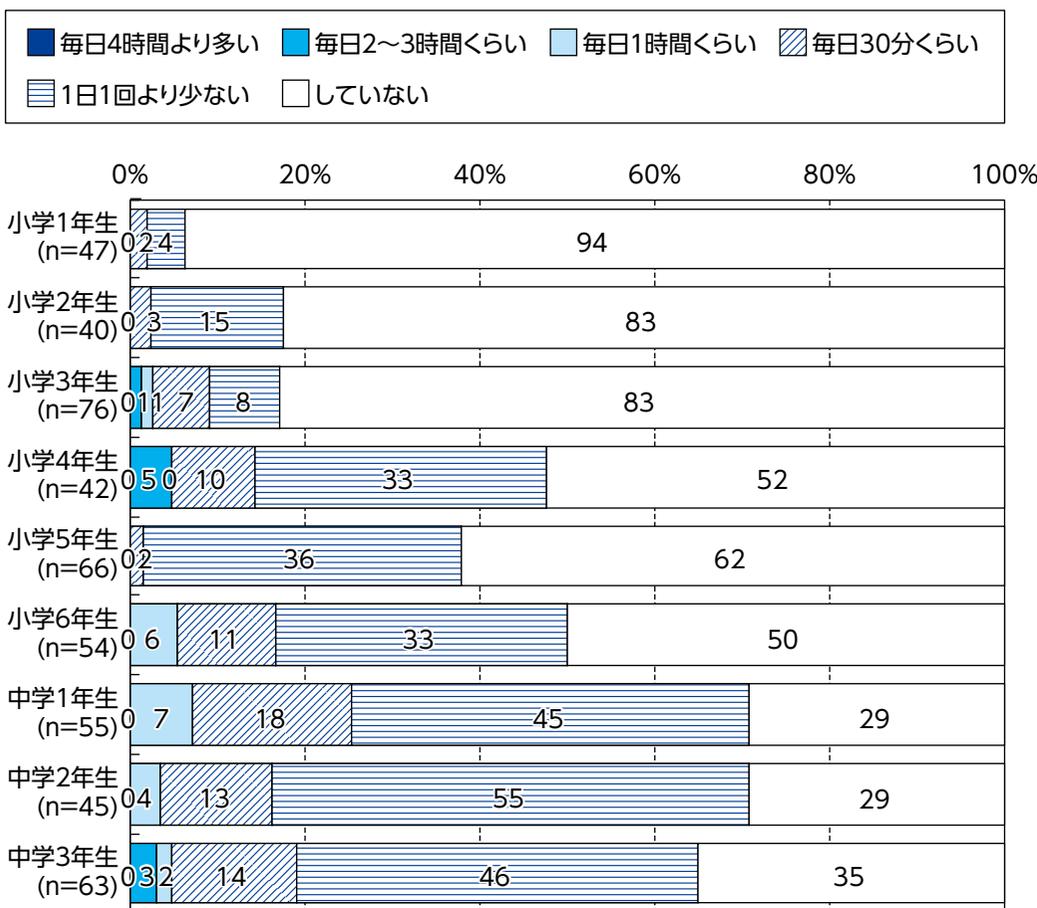


注: 関東1都6県在住の小中学生が回答。
出所: 子どものケータイ利用に関する調査2018(訪問留置)

2 節

[資料4-13] 学校や塾の宿題について、インターネットで調べたり動画を見る頻度[学年別](単一回答)

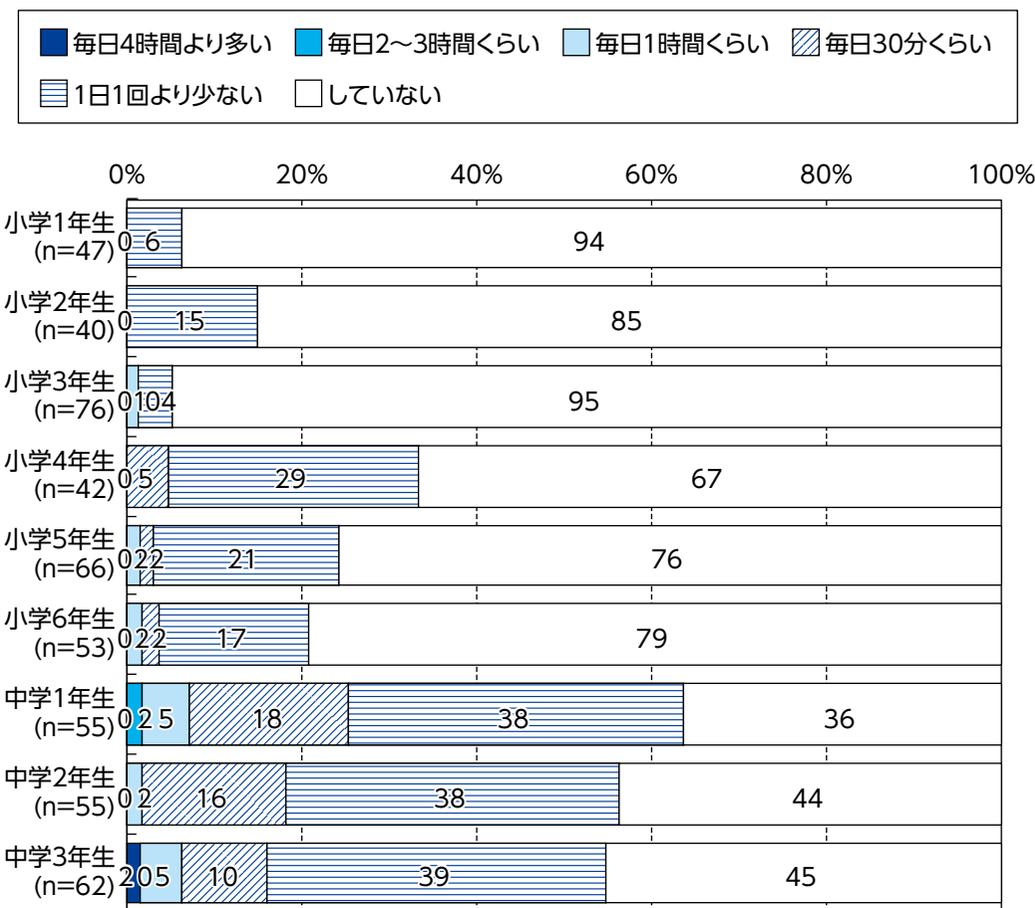
- 小学6年生になると学校や塾の宿題について、毎日インターネットで調べたり動画を見たりする子どもが約2割となる。



注: 関東1都6県在住の小中学生が回答。
出所: 子どものケータイ利用に関する調査2018(訪問留置)

[資料4-14] 習いごとや部活について、インターネットで調べたり動画を見る頻度[学年別](単一回答)

- 中学生になると、習いごとや部活について毎日インターネットで調べたり動画を見たりする頻度は2~3割となる。



注: 関東1都6県在住の小中学生が回答。
出所: 子どものケータイ利用に関する調査2018(訪問留置)

4章 子どものスマホ・ケータイ利用

3節

ICT利用の保護者の意識と親子間ルール

子どものICT利用への期待や不安，親子間ルール設定内容，親子の連絡頻度

ポイント

- 子どものICT利用に期待することは、「知識が広がる」「機器を使えるようになる」が過半数となる一方、子どものICT利用の心配事は「使いすぎに関する心配事」がいずれの学年でも約9割(資料4-15)。
- スマートフォンを利用する小中学生の8割以上がルールを設定。中学生では「食事中にスマホを利用しない」というルールが8割に達していた(資料4-19)。
- 会話時間は学年が上がるに伴い全体的に減少傾向。特に受験等で忙しくなる小5～小6，中2～中3に減少する。その一方で親子間のメッセージ利用頻度は学年が上がるにつれて拡大し、中学生の過半数が週に1回以上メッセージをやりとり(資料4-22，資料4-23)。

[資料4-15] 子どものICT利用に関する保護者の期待と心配事[学年別](複数回答) ————— 55

[資料4-16] 子どもがスマホ・ケータイを長時間使いすぎる状況と理由[学年別](複数回答) ——— 56

[資料4-17] 子どもが個人情報や写真・動画などを相談なしにネット上に
掲載してしまう状況とその理由[学年別](複数回答) ————— 56

[資料4-18] スマホ利用の親子間ルール ルール設定率—[学年別](単一回答) ————— 57

[資料4-19] スマホ利用の親子間ルール ルール内容— [学年別](複数回答) ————— 57

[資料4-20] 子どもがスマホ利用の親子間ルールを破った際の行動[学年別](複数回答) ————— 58

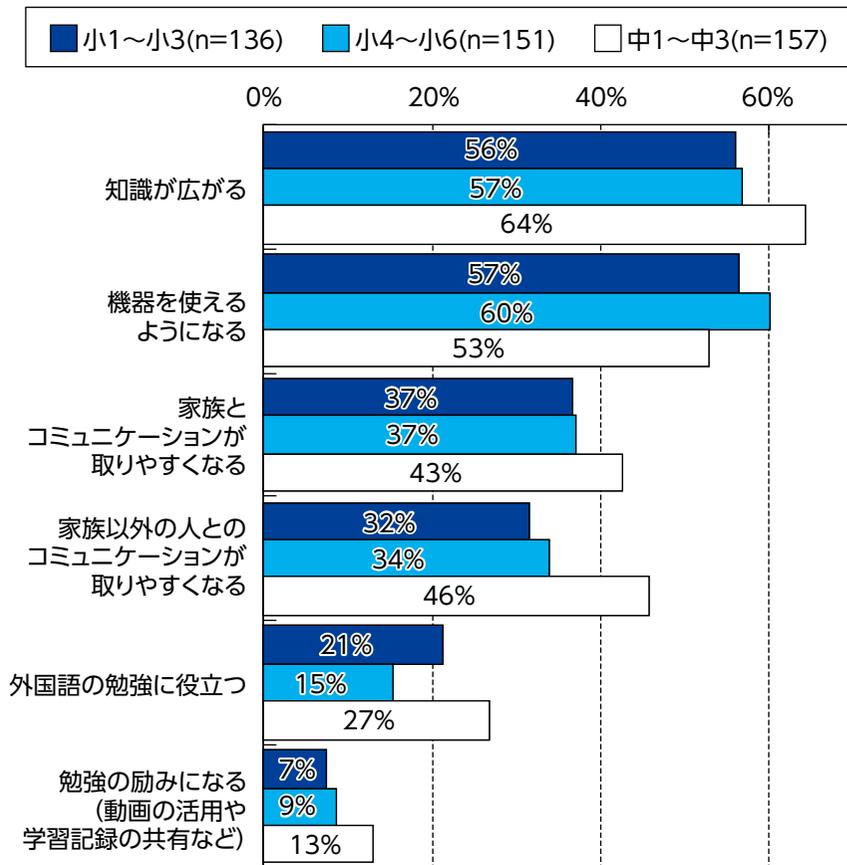
[資料4-21] 子どもにスマホ・ケータイ利用を教える場合に保護者が感じる不安[学年別](複数回答) — 58

[資料4-22] 親子間の直接顔を合わせた会話時間[学年別](単一回答) ————— 59

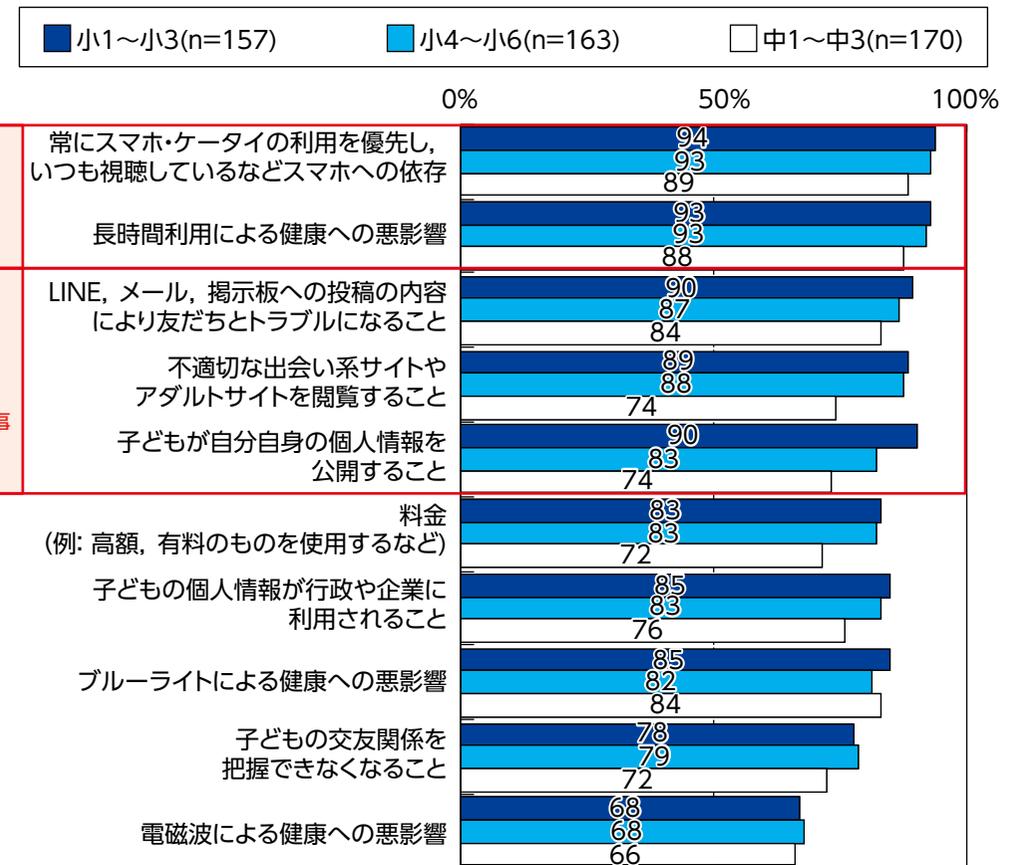
[資料4-23] 親子間のメッセージ(LINEやメールなど)のやりとりの頻度[学年別](単一回答) ——— 59

3 節 [資料4-15] 子どものICT利用に関する保護者の期待と心配事[学年別](複数回答)

- 子どものICT利用に期待することについて「知識が広がる」「機器を使えるようになる」と過半数が回答。
- 子どものICT利用の心配事は「使いすぎに関する心配事」がいずれの学年でも約9割、「ネットでのコミュニケーションに関する心配事」も7割以上が、そう思うと回答。



注: 関東1都6県在住の小中学生の保護者が回答。
出所: 子どものケータイ利用に関する調査2018(訪問留置)

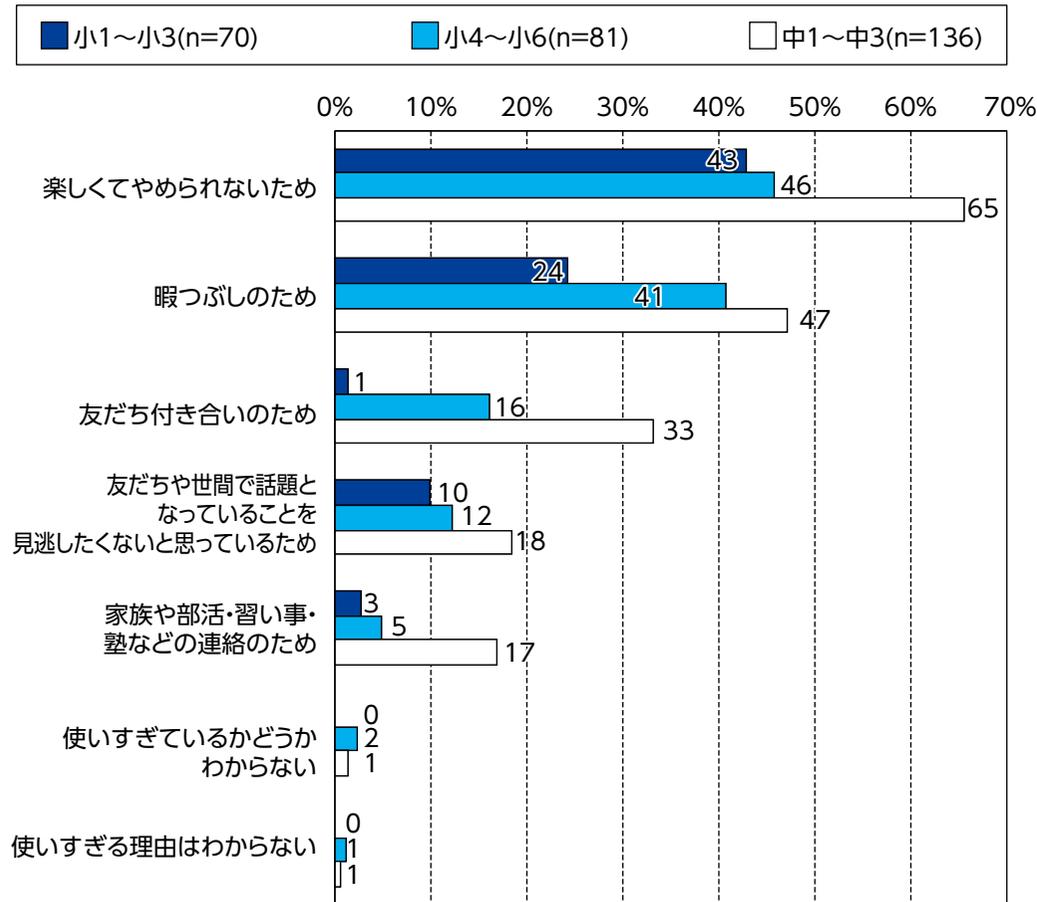


注: 関東1都6県在住の小中学生の保護者が回答。
出所: 子どものケータイ利用に関する調査2018(訪問留置)

3 節

[資料4-16] 子どもがスマホ・ケータイを長時間使いすぎる状況と理由[学年別](複数回答)

- 「楽しくてやめられない」が比較的多く、小学生で4割、中学生では6割以上。「暇つぶし」が次いで多く、中学生では約5割。

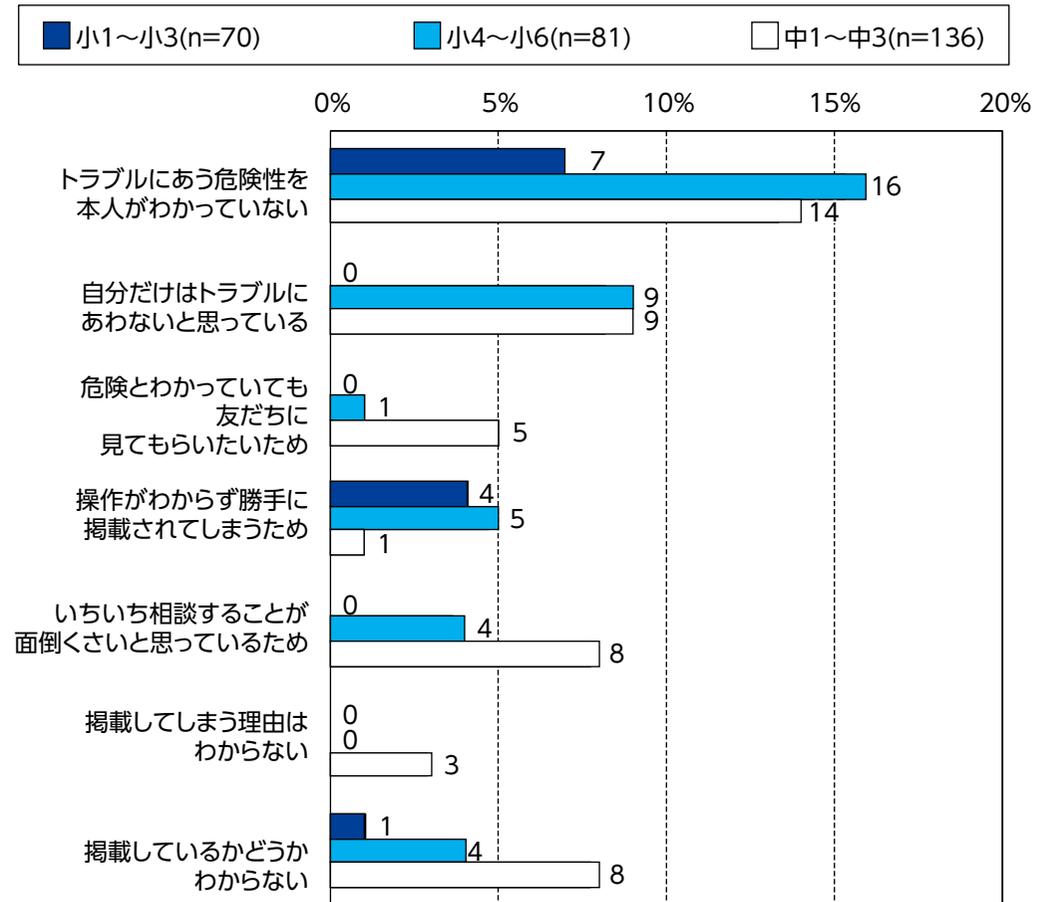


注: 関東1都6県在住のスマホを利用する小中学生の保護者が回答。「お子さまがスマホ・ケータイを長時間使い過ぎてしまうことはありますか。ある場合はその理由は何だと思えますか」と質問。

出所: 子どものケータイ利用に関する調査2018(訪問留置)

[資料4-17] 子どもが個人情報や写真・動画などを相談なしにネット上に掲載してしまう状況とその理由[学年別](複数回答)

- 小中学生では、まだSNS利用等も活発ではないため割合は少ないが、保護者の認識としては「トラブルにあう危険性を本人がわかっていない」の回答が比較的多い。



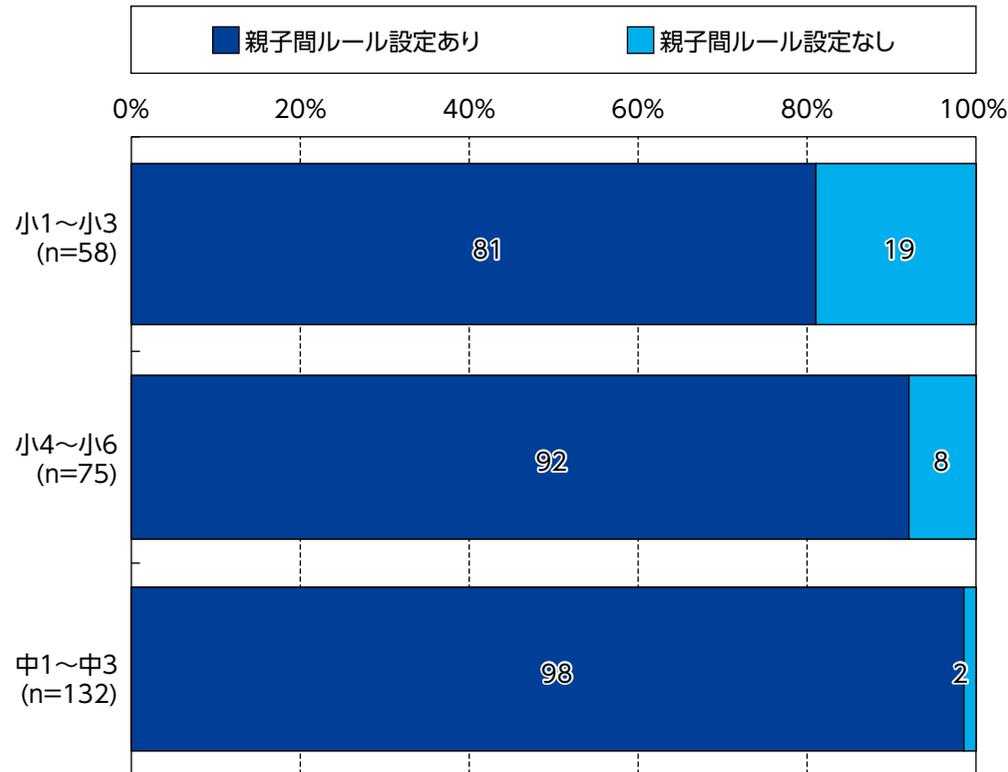
注: 関東1都6県在住のスマホ・ケータイを利用する小中学生の保護者が回答。「お子さまが個人情報や、自分や他人の写真・動画などを相談することなしにインターネット上に掲載してしまうことはありますか。ある場合は、その理由は何だと思えますか」と質問。

出所: 子どものケータイ利用に関する調査2018(訪問留置)

3 節

[資料4-18] スマホ利用の親子間ルール
—ルール設定率—[学年別](単一回答)

- スマートフォンを所有する子どもの8割以上は、何かしらの親子間ルールを設定していると回答。

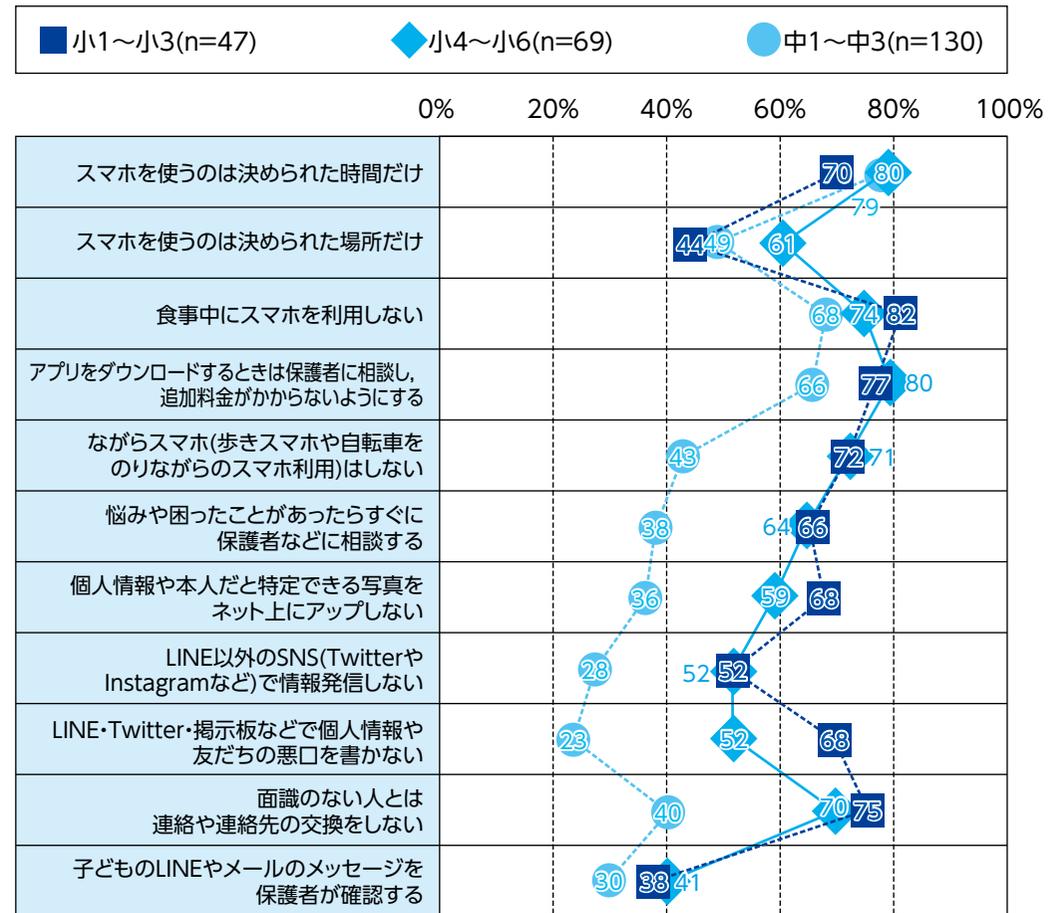


注: 関東1都6県在住のスマートフォンを利用する小中学生の保護者が回答。回線契約が切れたスマートフォンの利用者も含め集計。

出所: 子どものケータイ利用に関する調査2018(訪問留置)

[資料4-19] スマホ利用の親子間ルール
—ルール内容— [学年別](複数回答)

- 中学生は「食事中にスマホを利用しない」というルールが8割に達していた。



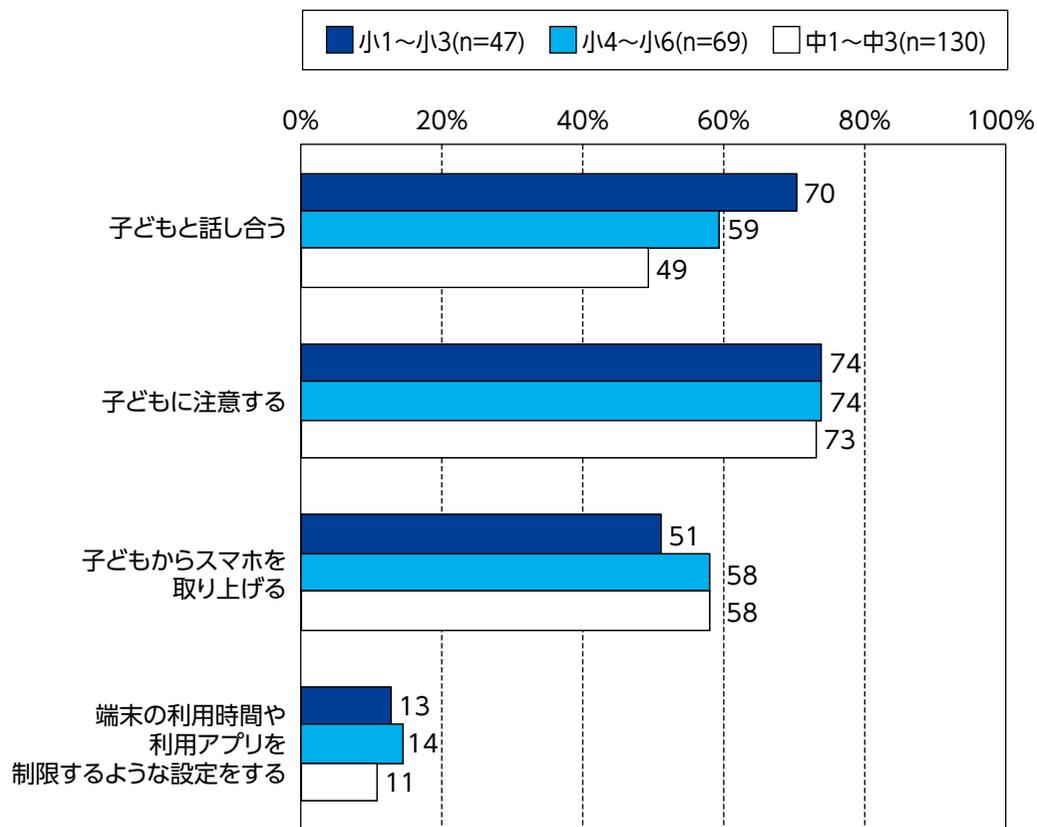
注: スマホ利用の親子間ルールを設定している、関東1都6県在住の小中学生の保護者が回答。スマホ利用者は、回線契約が切れたスマホの利用者も含め集計。

出所: 子どものケータイ利用に関する調査2018(訪問留置)

3 節

[資料4-20] 子どもがスマホ利用の親子間ルールを破った際の行動[学年別](複数回答)

- 子どもが親子間ルールを破った場合の対応としては、「注意する」「話し合う」と答えた保護者が多く、5～7割となっている。しかし、「子どもと話し合う」と答えた保護者の割合は学年が上がるに伴い減少し、逆に「子どもからスマホを取り上げる」は学年が上がるとやや拡大し、中学生になると約6割になる。

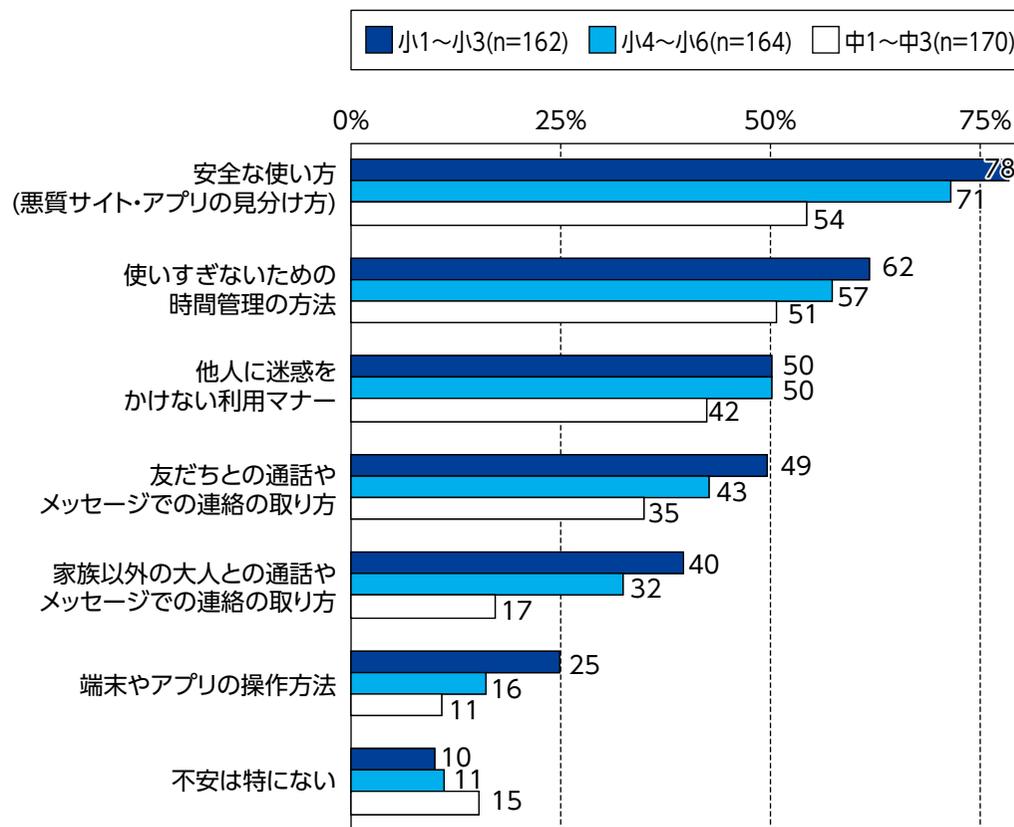


注: 関東1都6県在住のスマホを利用する小中学生の保護者が回答。「もしお子さまがスマホ・ケータイ利用の親子間ルールを破ったらどうしますか。当てはまるものをすべてお選びください」と質問。スマホ利用者は、回線契約が切れたスマホの利用者も含め集計。

出所: 子どものケータイ利用に関する調査2018(訪問留置)

[資料4-21] 子どもにスマホ・ケータイ利用を教える場合に保護者が感じる不安[学年別](複数回答)

- 中学生は「安全な使い方」「使いすぎないための時間管理の方法」はいずれの学年でも5割以上の保護者が不安視。
- 低学年の子どもを持つ保護者ほど、不安を感じる割合が高い傾向。



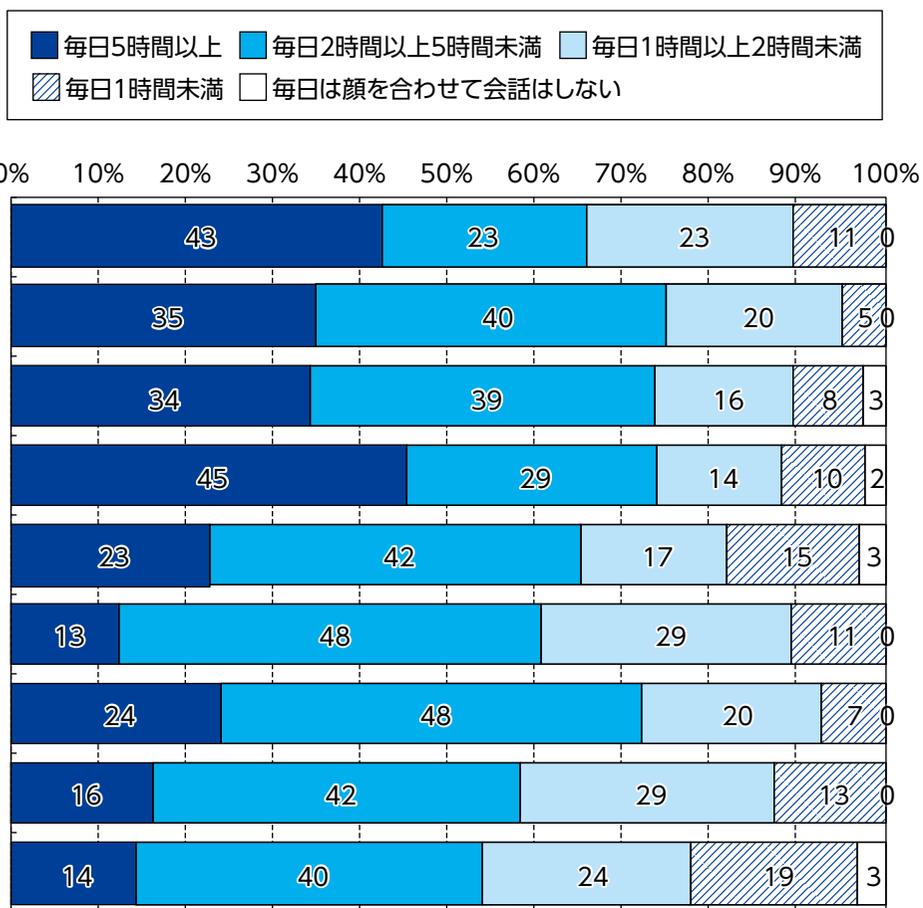
注: 「お子さまにスマホ・ケータイの使い方を教える場合に不安を感じるものをすべて教えてください。」と質問。

出所: 子どものケータイ利用に関する調査2018(訪問留置)

3 節

[資料4-22] 親子間の直接顔を合わせた会話時間
[学年別](単一回答)

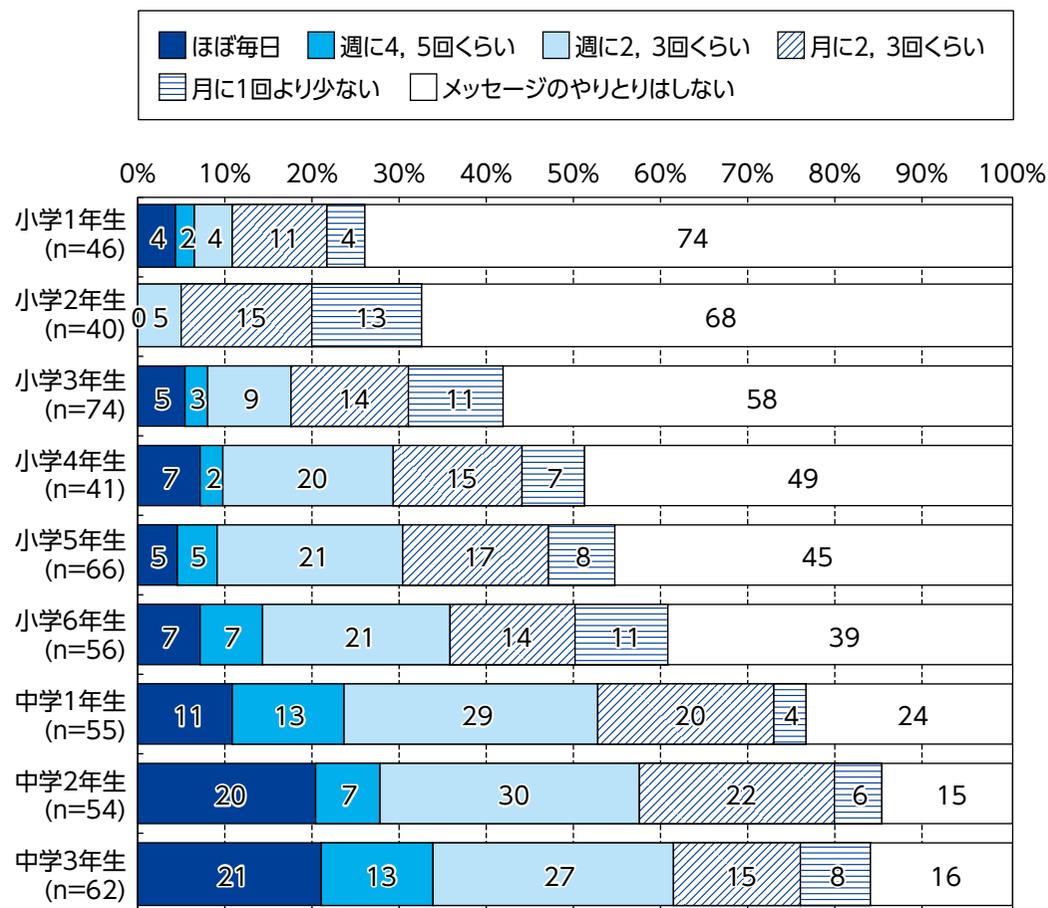
- 会話時間は学年が上がるに伴い全体的に減少傾向、特に受験等で忙しくなる小5～小6、中2～中3に減少。



注: 関東1都6県在住の小中学生の保護者が回答。
出所: 子どものケータイ利用に関する調査2018(訪問留置)

[資料4-23] 親子間のメッセージ(LINEやメールなど)の
やりとりの頻度[学年別](単一回答)

- 親子間のメッセージ利用頻度は学年が上がるにつれて拡大し、中学生の過半数が週に1回以上メッセージをやりとり。



注: 関東1都6県在住の小中学生の保護者が回答。
出所: 子どものケータイ利用に関する調査2018(訪問留置)

『ケータイ社会白書2019年版』お詫びと訂正

本資料におきまして下記の誤りがございました。謹んでお詫びし、訂正いたします。

株式会社NTTドコモ モバイル社会研究所

No.	訂正箇所	誤	正	訂正日
1	資料4-16 注釈	使い過ぎ てしまうことはあります か。	使い過ぎてしまうことはありますか。 [※不要な空白を除去]	2019年9月25日